

平成28年度 立谷川清掃工場の維持管理状況

1. 処分した一般廃棄物の種類及び数量

対象	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1・2号炉	種類	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	
	数量(t)	3,258.94	4,187.06	4,122.98	4,037.47	3,914.88	3,379.71	3,342.06	3,340.91	3,324.66	2,424.47	2,269.71	3,183.48	40,786.33

2. 冷却設備及び排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った月日

対象	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号炉	冷却設備	25日	30日	27日	26日	22日	20日	3・31日	30日	—	4日	—	21日
	排ガス処理設備	25日	30日	27日	26日	22日	20日	3・31日	30日	—	4日	—	21日
2号炉	冷却設備	11日	16日	13日	12日	8日	5・20日	17日	11日	19日	4日	—	1・21日
	排ガス処理設備	11日	16日	13日	12日	8日	5・20日	17日	11日	19日	4日	—	1・21日

・排ガス処理設備では、焼却停止時の上記月日に清掃による除去に加えて、焼却時に機械運転による連続除去を行っています。

3. 煙突から排出される排ガス中のばい煙量又はばい煙濃度（六月に一回以上測定する項目）

（1回目）

対象	項目	基準値	採取位置	採取月日	結果の得られた月日	測定結果
1号炉	硫黄酸化物(m ³ N/h)	79.49以下	集じん器 出口※	5月11日	6月2日	0.17
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.15以下				<0.005
	塩化水素濃度(mg/m ³ N)	700以下				<10
	窒素酸化物濃度(ppm)	250以下				86
2号炉	硫黄酸化物(m ³ N/h)	78.06以下	集じん器 出口※	7月1日	7月25日	0.25
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.15以下				0.009
	塩化水素濃度(mg/m ³ N)	700以下				10
	窒素酸化物濃度(ppm)	250以下				94

（2回目）

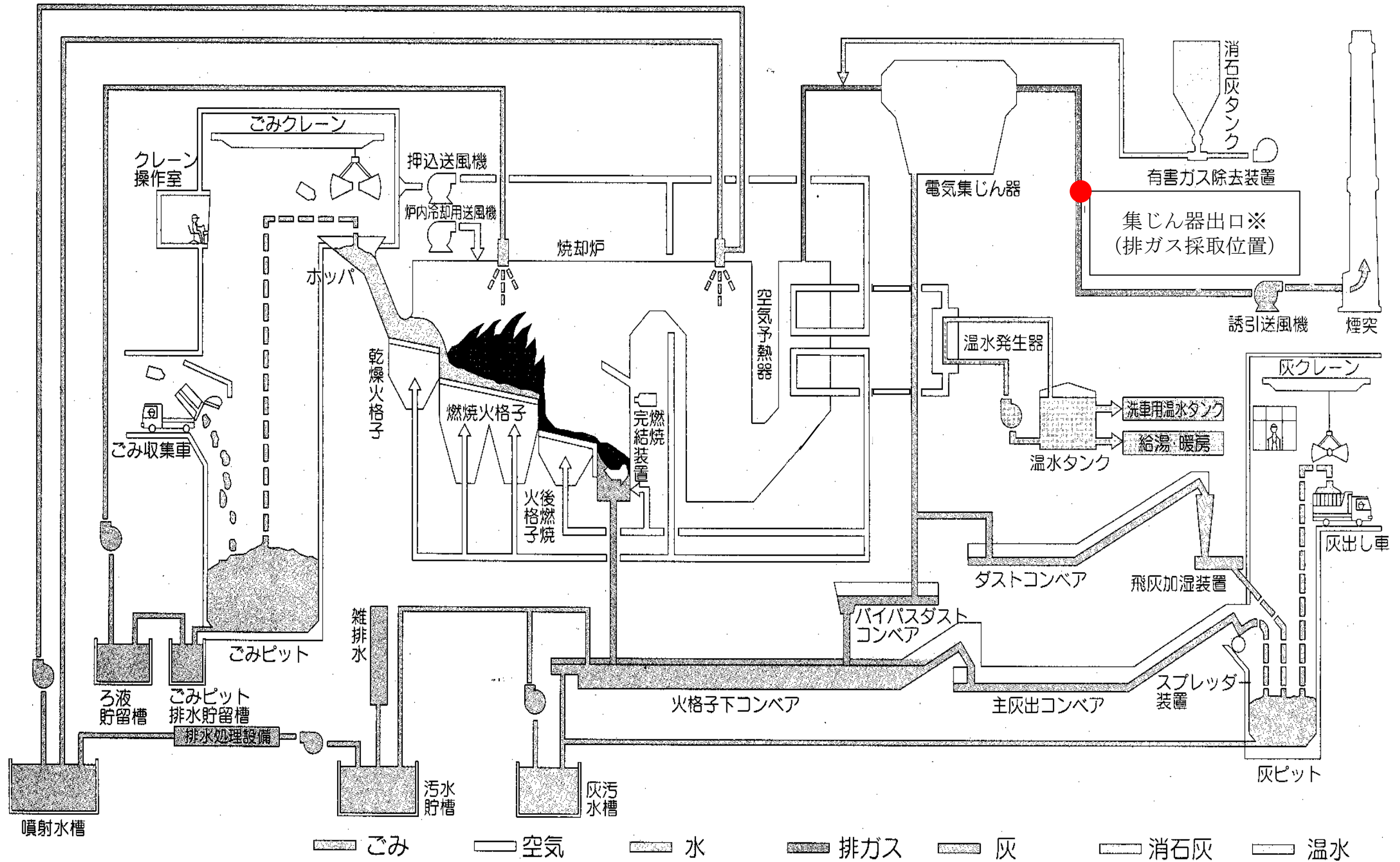
対象	項目	基準値	採取位置	採取月日	結果の得られた月日	測定結果
1号炉	硫黄酸化物(m ³ N/h)	81.57以下	集じん器 出口※	9月1日	10月7日	<0.16
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.15以下				0.008
	塩化水素濃度(mg/m ³ N)	700以下				<10
	窒素酸化物濃度(ppm)	250以下				110
2号炉	硫黄酸化物(m ³ N/h)	79.25以下	集じん器 出口※	11月2日	11月24日	0.23
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.15以下				<0.005
	塩化水素濃度(mg/m ³ N)	700以下				120
	窒素酸化物濃度(ppm)	250以下				90

- ・硫黄酸化物の基準値は、測定時の排ガス流量及びK値14.5より算出したものです。
- ・ばいじん濃度・塩化水素濃度・窒素酸化物濃度の基準値・測定結果はO₂=12%換算値です。
- ・※の集じん器出口はフロー図によります。

4. 煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度（一年に一回以上測定する項目）

対象	項目	基準値	採取位置	採取月日	結果の得られた月日	測定結果
1号炉	ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m ³ N)	5以下	集じん器 出口※	9月14日	10月26日	0.240
2号炉	ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m ³ N)	5以下	集じん器 出口※	9月14日	10月26日	0.011

・※の集じん器出口は位置図図による。



立谷川清掃工場における排ガスの採取位置図